

EToS

NEW EDO-TOKYO RESEARCH RELATIVIZING MODERNITY FOR REDEFINING THE FUTURE OF CITIES



江戸東京研究センター設立記念国際シンポジウム 新・江戸東京研究 ～近代を相対化する都市の未来～

2018/02/25〔日〕10:00-19:00
法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎7階 薩埵(さった)ホール
主催:法政大学江戸東京研究センター

法政大学にこの度、江戸東京研究の先端的・学際的拠点として「江戸東京研究センター」が設立された。本学の「国際日本学研究所」と「エコ地域デザイン研究センター」の協力で生まれた文理融合の研究組織である。1980年代に提唱された従来の「江戸東京学」を現代的視点で乗り越え、都市東京のユニークな特質を生み出す基層構造をハードとソフトの両面から解き明かし、西洋型の都市モデルとは異なる、21世紀に相応しい都市の在り方を探究することを目的としている。本研究センターの設立を記念して開催されるこの国際シンポジウムでは、国内外の様々な分野の専門家とともに、江戸東京の歴史から学び、そこに蓄積された知恵、資産の価値を新たな視点で掘り起こし、日本発の近未来都市像を描き出すことを目指したい。

陣内秀信(法政大学江戸東京研究センター長)

午前の部 10:00-12:00 午後の部 13:00-19:00

陣内秀信(法政大学江戸東京研究センター長)
新・江戸東京研究の展望

榎文彦(建築家)
基調講演 ヒューマニズムの建築を目指して

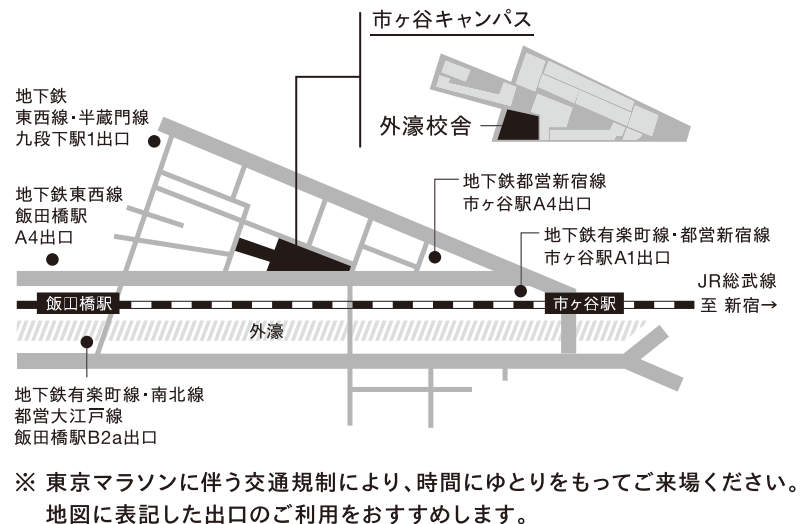
Session 1 13:00-
江戸東京のモデルニテの姿 ― 自然・身体・文化 ―
チエリー・オケ(哲学/パリ・ナンテール大学)
ローザ・カーロリ(日本学/ヴェネツィア大学)
安孫子 信(哲学/法政大学) モデレーター

川田順造(人類学者)
基調講演 「川向こう」をめぐる断想

Session 2 15:00-
江戸東京の巨視的コンセプト
Post-Western/Non-Western
パオロ・チェツカレッツリ(都市計画/フェラーラ大学)
ロレーナ・アレッシオ(建築/トリノ工科大学)
ホルヘ・アルマザン(建築/慶應義塾大学)
北山 恒(建築/法政大学) モデレーター

Session 3 17:00-
水都の再評価と再生を可能にする哲学と戦略
リチャード・ベンダー(都市計画・建築/UCバークレー校)
アントネッロ・ボアッティ(都市計画/ミラノ工科大学)
高村雅彦(都市建築史/法政大学)
陣内秀信 モデレーター

文部科学省補助金 平成29年度
「私立大学研究ブランディング事業」(法政大学)



EToS 江戸東京研究センター
Hosei University Research Center for
Edo-Tokyo Studies